

北小岩地域のスーパー堤防構想の撤回を求める陳情

(建設委員会付託)

受理番号 第 18 号 受理年月日 平成 23 年 6 月 21 日

付託年月日 平成 23 年 6 月 28 日

陳情者
.

陳情原文 私たち東京都江戸川区北小岩地域に暮らす住民は、平成 18 年以降、国土交通省と江戸川区が推進するスーパー堤防（高規格堤防）構想に苦慮しております。

この構想では葛飾区境から JR 総武線の線路までの 2.2 km に、堤防の高さと同じ 10 m の盛り土をし、幅は 250 ~ 300 m 広げ、対象となる住宅約 1,800 棟を取り壊し、住民約 6,500 人を移転させるものです。地権者には住宅の築年数に応じた一定の補償費用だけです。

発表以来、江戸川区は「何故、北小岩なのか」明確な説明もありません。当初、地球温暖化で東京湾の海面が上昇する、北小岩には液状化現象がみられる、と言っていたのですが、最近では北小岩が危ないわけではない、今やれば住民税を使わなくて済む、と変わっています。

今、国民一人当たり 670 万円強の借金があり、今年度中には 900 兆円に達するとされています。全国 6 河川で構想されるこの事業は、推計で 12 兆円もの巨費が投じられることになっていますが、財政は負担に耐えられるか疑問です。

北小岩の堤防は昭和 40 年からの工事で 2 倍の高さの 10 m に嵩揚げされ、一昨年は緩傾斜堤防の工事も行われました。また、昭和 22 年のキャサリン台風でも決壊しませんでした。

江戸川区の街づくり計画には、岩槻街道から分岐する都市計画道路補助第 283 号線の拡幅計画が含まれています。整然とした街区、緑豊かな北小岩に何故、現在の 2 倍以上の道路が必要なのでしょうか。

私たちは構想が発表されて以降、3 万筆以上の反対陳情を区議会に提出してきましたが、江戸川区は一向に考えを変えず今日に至っております。

私たちはこの静かな北小岩の町を壊されたくなく、構想の必要性をも認めるものではありません。下記のとおりこの構想の撤回を求めるものです。

記

北小岩地域スーパー堤防建設及び都市計画道路補助第 283 号線の拡幅計画の撤回を求めます。